

令和2年度
地球温暖化対策計画作成・実施状況報告書 審査結果のお知らせ

埼玉県 環境部 温暖化対策課

1. 大規模事業所の概要

事業所番号	009601	事業所区分	C
事業所名称	平岡織染株式会社 草加事業所		
事業所所在地	草加市松江四丁目1番8号		
事業者名	平岡織染株式会社		
目標削減率区分	第2区分	新規・既設区分	既設
産業分類	11 繊維工業	削減計画期間	令和2年度～令和6年度

2. 第3削減計画期間の実績

(排出量の単位は t-CO2)

		令和2年度までの合計					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標設定ガス	基準排出量 ①	5,833	5,833	5,833	5,833	5,833	5,833
	目標削減率 ②		15.00%	15.00%	15.00%	15.00%	15.00%
	削減目標量 ③ = ① × ②	875	875	875	875	875	875
	排出量 ④	3,552	3,552				
	削減量 ⑤ = ① - ④	2,281	2,281				
	削減率 ⑥ = ⑤ / ①		39.1%				
	検証		検証済				
その他ガス排出量	-	-					

基準年度の検証	検証済
---------	-----

3. 第3削減計画期間の達成見込み (推計)

(排出量の単位は t-CO2)

下記数値は、令和2年度までの平均的な排出量が令和6年度まで継続するとして推計したものです。
今後の排出状況や取組状況により値は大きく変化する場合があります。

基準排出量 ⑦	29,165	上記①基準排出量の削減計画期間全体の合計
削減目標量 ⑧	4,375	上記③削減目標量の削減計画期間全体の合計
排出量 ⑨	17,760	これまでの排出実績を基にした推計値です
排出削減量 ⑩ = ⑦ - ⑨	11,405	

㊚ ⑧ ≦ ⑩ の場合 削減目標量を上回る削減が行われる見込みです。

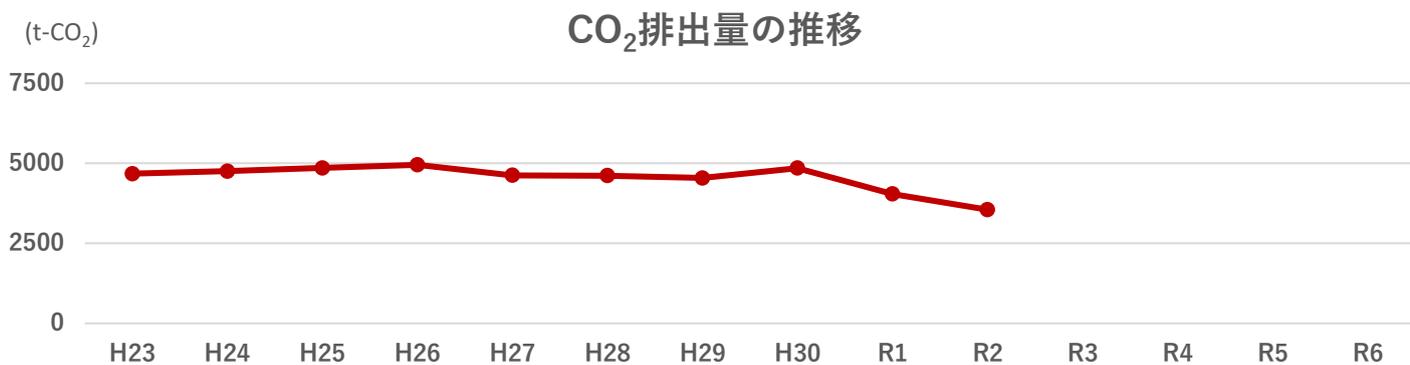
目標を上回って削減された量 ⑪ = ⑩ - ⑧	7,030	
超過削減量 ⑫ (取引できる量)	7,030	各年度において、削減量が基準排出量の2分の1を上回った場合には、基準排出量の2分の1から削減目標量を減じた値が超過削減量となります。

㊚ ⑧ > ⑩ の場合 第3削減計画期間では削減が不足する見込みです。

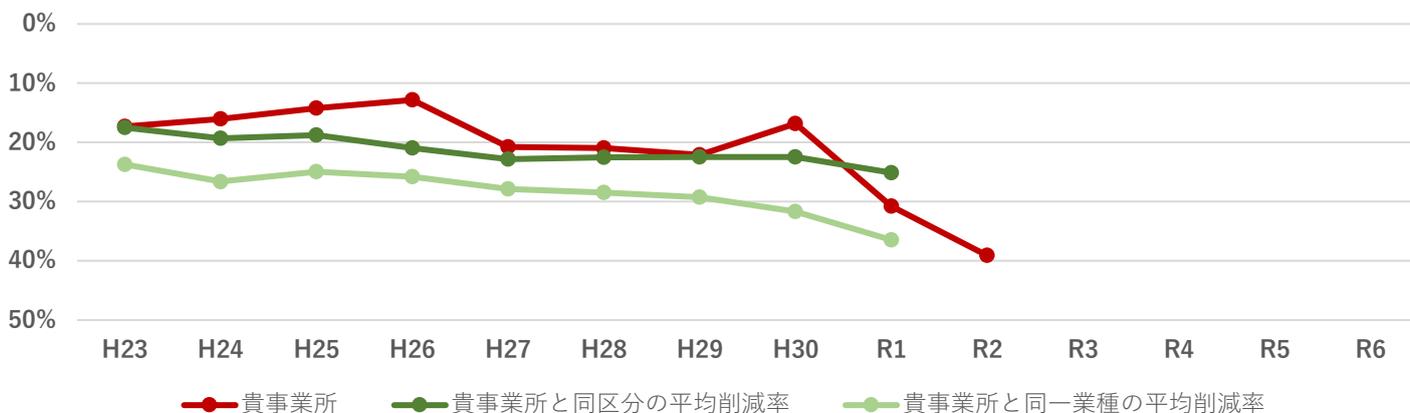
削減不足量 ⑬ = ⑧ - ⑩	-	指定管理口座で保有するクレジットを目標達成に充てることができます。それでも不足する場合は、排出量取引によりクレジットを取得してください。
-----------------	---	--

4. CO₂排出量の推移

CO ₂ 排出量等		排出量は第2,3削減計画期間における排出係数で算定				
第1削減計画期間	平均値	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
エネルギー使用量 (kL)	2,553	2,487	2,527	2,583	2,614	
エネ起CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	4,808	4,674	4,751	4,853	4,953	
第2削減計画期間	平均値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度
エネルギー使用量 (kL)	2,334	2,380	2,376	2,339	2,494	2,082
エネ起CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	4,533	4,621	4,612	4,542	4,851	4,039
第3削減計画期間	平均値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
エネルギー使用量 (kL)	1,831	1,831				
エネ起CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	3,552	3,552				



5. CO₂排出削減率の他事業所との比較



6. 県からのお知らせ

○協議について

事業所の床面積や用途、設備に大幅な変更がある場合は、基準排出量の変更協議を行っていただく必要があります。詳しくは、温暖化対策課にお問い合わせください。

○今後の対策について

目標を上回る削減となっています。現状の分析と計画的な対策の立案、実施を行い、排出削減の更なる推進に努めてください。

○各年度の検証受検について

第3削減計画期間各年度の検証は、令和7年度末までに、受検・報告を行ってください。（県では毎年度の受検を推奨しています。この場合は対象年度の翌々年度の計画書に、併せて提出するようお願いします。）